

大切な「水」について総合的に学ぶ「水育(みずいく)」

サントリー株式会社の取組

「水と生きる」をコーポレートメッセージとしているサントリー株式会社(以下「サントリー」という。)では、「水」をテーマにした体験学習「水育」の取組を平成18年から実施しています。90分のプログラムで、小学校4年生から6年生までの児童を対象としています。平成19年は、首都圏、京阪神、山梨、熊本の65校で実施されました。

今回は、町田市立南つくし野小学校5年生の総合的な学習の時間に実施された「水育」の授業について、御紹介します。

この授業のここがポイント!

★毎日使っている水の量を実感することから

今回の授業では、事前に1日の「水の記録」をつける宿題が出されました。歯を磨く、お茶を飲むなど、何時にどこで、どのくらい水を使ったか、メモしておきます。また、「水を大切にするために工夫していること」についての保護者インタビューや、自然の中やからだ、身の回りにはどのような水があるかについてもシートに記入してきました。

授業は、宿題となった「水の記録」をグループで互いに確認することから始まります。そして、食事、風呂、料理など、様々な場面で使う水の量について、クイズが出されました。家庭では、一人1日に、なんと約244リットルの水(2リットルのペットボトル122本分)を使います。「そんなにたくさん!」と驚きの声が上がリ、改めて自分の「水の記録」を見直しました。

また、水を使うのは、私たちの生活の中だけではありません。工場や、米をつくる際などの例から、様々な場面で、大量の水を使うことも学びました。

★自然が育んだ水を使うのは私たち



次に、地球上にある水の中で、私たちが使える水がどのくらいでしょうかというクイズが出されました。地球全体の水の量を10リットルのポリタンク1杯分として、みんなで考えていきます。海の水は使えません。南極の氷も使えません。残ったとてもわずかな割合の水を、地球上に66億人いるといわれる人間のほか、動物や植物も一緒に使うのです。

自然の中での水の循環を学ぶために、ペットボトルに砂や石を重ねて森の地層を模したろ過装置に泥水を入れて観察しました。透き通った1滴が出てくるまでには、とても時間がかかりました。

水は、生み出される地質や地形の違いによって軟水と硬水に分かれます。この2種類の水を、実際に飲み比べて確かめました。「なめらか」「しっかりとした味がする」などの違いを書き留めていきます。

軟水と硬水で紅茶を淹れ比べてみると、色も香りも全く違います。水を生み出す自然によって、含まれるミネラル量が違うことがはっきり分かりました。

最後に、水を守るために私たちができることについて、発表しました。



★先生が最初に学びました

今回の授業は、山梨県にあるサントリー白州蒸溜所で開催された教員対象の「水育」セミナーに、5年生の担任が参加したことをきっかけとして実施されました。セミナーに参加した先生は、工場見学等を通じて水が作られる森のことを学び、子供たちに事前にいろいろと水についての話をしていました。

今回の授業では、次々と手を挙げて活発に発言する子供たちが印象的でした。

○サントリーCSR・コミュニケーション本部環境部課長の川井 恵美子さんにお話を伺いました

サントリーでは平成16年から子供たちの「夢」や「挑戦する気持ち」を応援する「キッズ・ドリーム・プロジェクト」を始めました。

なかでも、世の中に「水」の恵みをお届けする企業として、「水」にこだわり、大切にしてきたことから、子供たちに「水」の大切さや「水」を育む森や自然の大切さを伝える「水育」への取組を展開しています。このプログラムづくりには、水科学研究所、安全性科学センター、品質保証部など多くの部署の人間が集まりました。

指導は、「水育」の専任講師が行っています。事前に学校と打合せを行い、どのような流れの中の授業なのか、学校としての環境学習の取組等についても確認しながら、授業を実施するようにしています。

短い授業時間の中で、こちらの思いが子供たちに伝わるかどうか不安もありました。しかし、「森の大切さがわかった」、「生活の中でできることがあるとわかった」などの発言があったことから、子供たちがきちんと理解してくれていたことがわかり、ほっとしたところです。

ホームページには、「水」についての調べものや学習で利用できる「こども『水育』わくわく大百科」を設置しています。また、先生向けに説明会や、模擬授業も実施していますので、是非事務局に御連絡ください。

【連絡先】サントリー〈キッズ・ドリーム・プロジェクト〉事務局「水育」出張授業係

電話 03-3350-5681

URL <http://suntory.jp/kids/mizu-iku/index.html>



※「水育」は、第1回キッズデザイン賞

コミュニケーションデザイン部門賞を受賞しています。

キッズデザイン賞

キッズデザイン賞は、子供を生み育てやすい生活環境の実現や、子供の安全・安心と健やかな成長発達につながる生活環境の創出を目指したデザイン(キッズデザイン)の顕彰制度です。

製品や設備に限らず、コンテンツやシステム、企業や自治体等の取組みなども対象となっており、平成19年度は121点が受賞しました。

このキッズデザイン賞事業を実施しているのは、

キッズデザイン協議会 <http://www.kidsdesign.jp/> です。

